

大里中学校 音楽科シラバス 2 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「」
補助教材「」

- ・歌唱、器楽、鑑賞を通して「芸術としての音楽」を体験し、音楽を愛好する心情を育てる。
- ・歌唱や器楽では音楽の基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫された自己表現力を養う。
- ・鑑賞ではその美しさを体得し感受性を豊かにするなど、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
- ・実技テストや鑑賞指導により感受性や表現力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感得する。
- ・国際社会に通じる日本と世界の音楽を学習し、国際理解を深める。

2 授業の進め方

- ・授業内容に応じて、一斉指導、グループ指導、個別指導、自主的学習を組み合わせた授業を展開する。
- ・各々の生徒に対応した実意テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感得させることを目標とする。
- ・ICT教育に際しては、iPadや電子黒板を適宜利用して授業を展開する。

3 学習上の留意点

- ・授業中、鑑賞中、演奏中において「聞く（聴く）」ことに集中する。
- ・自ら音楽を実践（演奏）すること。
- ・積極的に授業に参加し、音を楽しむ心を大事にすること。
- ・提出物の期限を遵守すること。
- ・授業には必ず教科書、筆記用具、アルトリコーダーなどを持参すること。忘れ物をしないこと。
- ・遅刻・欠席はできるだけしない。遅刻した場合は原点とする。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。許可なく勝手に触れないこと。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・単元に合わせたプリントを配布・配信する。
- ・必要に応じて、映像や動画などを鑑賞する。

5 単元テスト

- ・単元の終了に伴い単元テストを実施し、学習の習熟度を知る。

※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・歌唱、器楽で表現力を発揮する ・鑑賞曲の構成を理解し鑑賞し適切な感想を書き動画やプリントを使い、知識を深める。	・音楽的であり創意工夫された表現力を発揮する ・鑑賞において、その楽曲の構成や音楽的な工夫、歴史的な背景に興味を持ち、適切な感想を書く ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって聴く。	・歌唱、器楽での積極的な態度 ・単元に合わせたプリント配布 ・学習用具を揃える
方法	この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。		
	・リコーダーテスト ・歌唱テスト ・記述式テスト ・単元プリント提出	・実技テスト ・記述式テスト ・単元プリント提出	・実技テスト ・単元テスト ・学習用具点検